



Corporate Profile

会 社 案 内 2 0 2 4

Making your dreams come true

東京本社

〒108-6216 東京都港区港南2-15-3

TEL 03-5781-6200(代表)

大阪本社

〒540-8603 大阪府大阪市中央区淡路町1-7-3(2024年9月16日まで)

〒540-8603 大阪府大阪市中央区淡路町4-2-13(2024年9月17日以降)

TEL 06-6228-5000(代表)

URL: <https://www.chori.co.jp/>

2024年6月発行



蝶理株式会社



ご挨拶



将来を読む力で新たなビジネスに挑み続ける

■創業160年超の歴史を持つ複合型専門商社

蝶理グループは、繊維、化学品及び機械事業を展開する複合型専門商社です。創業以来160年超の歴史を持ち、単なるトレーディングに留まらず、常に顧客・社会のニーズに応えながら、付加価値の高い機能・商品を提供してきました。また、その歴史の中で、中国及びASEANを中心にグローバルネットワークを広く構築し、事業を展開しています。

2024年4月に、マテリアリティ(重要課題)の特定及びサステナビリティ関連方針の策定を発表しました。2025年度を最終年度とする3カ年の中期経営計画「Chori Innovation Plan 2025」の基本戦略や各施策・取り組みを着実に実行し、「高機能・高専門性を基盤として、グローバルに進化・変化し続ける企業集団」として進化し続けていきます。

■本冊子について

本冊子は蝶理の会社案内として、蝶理の歴史や事業、サステナビリティへの取り組み等についてご紹介しています。蝶理の強みやオリジナリティについてご理解いただける1冊となれば幸いです。

事業環境が目まぐるしく変化する中でも、その変化をチャンスと捉え、スピード感を持って対応していきます。これからも、お客様や株主といった全てのステークホルダーの皆様の期待に応え、持続的成長と発展のために、企業価値を向上させていきます。

代表取締役社長

迫田 寛之

企業理念

私たちは地球人の一員として、
公正・誠実に誇りを持って行動し、
顧客満足度の高いサービスを提供し続け、
より良い社会の実現に貢献します。

コーポレートスローガン

あなたの夢に挑戦します。

Making your dreams come true

挑戦你的夢想

CONTENTS

3	蝶理の事業と強み	11	事業紹介：繊維事業
5	蝶理の軌跡	15	事業紹介：化学品事業
7	蝶理の グローバルネットワーク	18	事業紹介：機械事業
9	蝶理のいま	19	蝶理のサステナビリティ
10	中期経営計画 「Chori Innovation Plan 2025」	21	会社情報

蝶理の事業と強み

高機能・高専門性を基盤とし、
高付加価値商品をグローバルに展開。
蝶理は、進化・変化し続ける企業集団です。

日本をはじめ世界の優良なサプライヤーと強固な関係を構築しています。長年にわたるサプライチェーン・顧客との密接な取引関係の中で得た豊富な知識や技術を通じて、市場ニーズや顧客ニーズを素早く察知し、スピード感と機動力を持って対応します。

蝶理の事業 = 高機能・高専門性 × 強固なネットワーク

繊維事業

強固なネットワークをグローバルに構築

糸加工、織物製造、染色等で世界に通用する高い技術力を持った北陸産地との古くからの強い結び付きを背景に、高付加価値商品を提供しています。また、国内外にある多数のサプライチェーンに加え、中国やASEANでの生産拠点を整備し、グローバル規模で適地調達・適地生産・適地販売できるネットワークを構築しています。糸・生地・資材等の素材から、スポーツ用途・ファッションにわたる様々な縫製品に至るまでを「GLOBAL ONE STOP CHORI」でグローバルに幅広く提案しています。

化学品事業

特異なネットワークを活かして事業を拡大

基礎化学品だけでなく電子材料、電池材料、5G関連、医薬品・農業中間体等の高機能材料や生分解性プラスチック等の環境に配慮した商品及び、保湿効果を高めるための化粧品原料やフードケミカル等の様々な商材を取り扱っています。長い歴史のある中国事業を中心にグローバルなネットワークが根付いており、経済成長が見込まれる地域へのスピード感を持った戦略的な取り組みや、取引先との緊密な連携によって調達・販売を拡充しています。

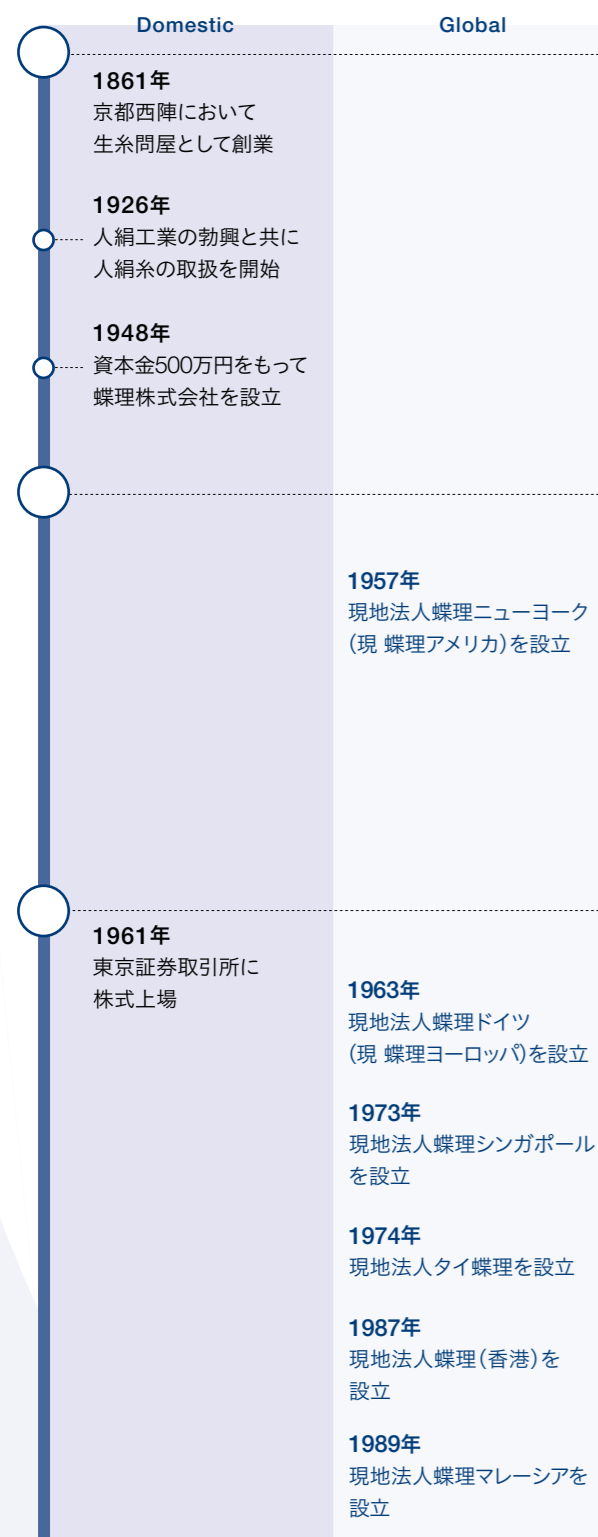
機械事業

独自のネットワークで得られる情報をもとに、世界中の市場の変化に素早く対応

四輪車・二輪車・トラック等の輸送機器や農業用機械等を中南米や欧州向けに輸出・仲介取引を行っています。緻密な情報網や顧客との強固な取引関係を通じて、市場の変化にも素早く対応し、セミノックダウン生産による中国・メキシコとの三国間貿易等を手掛けています。

蝶理の軌跡

蝶理は、江戸時代末期の1861年に京都の生糸問屋として創業しました。以来、常に時代と共に歩み、社会のニーズに応えながら、積極的に事業を展開してきました。



1861

「蝶理」の由来

生糸を生み出す蛾を「蝶」と言い換え、創業家大橋一族の当主「理一郎」の名前から「蝶理」としました。



1956

化学品の取扱を開始

石油化学製品の有望性にいち早く着目した蝶理は、この年に塩ビ、ポリエステル等の合成樹脂をはじめとする化学品の取扱を開始しました。また、各種機械及び諸物資の取扱も開始し、基幹事業である繊維に加えて、化学品・機械という収益事業をスタートさせました。



1961

日中友好商社の第一号に

蝶理は、日中国交正常化前の1961年に、中国より友好商社の指定を受けました。これを機に、蝶理は日中貿易のパイオニアとして本格的に中国事業を開始し、中国の有力パートナーとのネットワークを拡大してきました。



2003年
新生経営計画を策定

2004年
東レ株式会社の連結子会社となる

1993年
中国初の現地法人蝶理(上海)を設立

1995年
現地法人蝶理インドネシアを設立

2001年
現地法人蝶理中東を設立

2004年
現地法人蝶理(天津)、蝶理(大連)貿易を設立

2005

中国内販権・貿易権の獲得

中国内販権・貿易権を有する日本商社第一号の現地法人として、蝶理(中国)商業有限公司を設立しました。中国において、トップブランドとして根付いている蝶理は、中国を製造拠点とするだけでなく、一大市場として、また三国間取引の戦略拠点として位置付けています。



2013年
蝶理GLEX株式会社を子会社化

2014年
東京本社を品川に移転

2015年
ミヤコ化学株式会社を子会社化

2017年
蝶理マシナリー株式会社を設立

株式会社アサダユウを子会社化

2018年
株式会社小桜商会を子会社化

2021年
株式会社STXを子会社化

2022年
全社業務変革プロジェクト開始

2023年
中期経営計画「Chori Innovation Plan 2025」を策定

2010年
ダッカ(バングラデシュ)に駐在員事務所を設置

2012年
現地法人蝶理コリアを設立

2014年
現地法人蝶理インドを設立

2016年
現地法人蝶理ベトナムを設立

2017年
現地法人蝶理メキシコを設立

2018年
現地法人台湾蝶理を設立

2019年
現地法人蝶理(大連)商貿進出口を設立

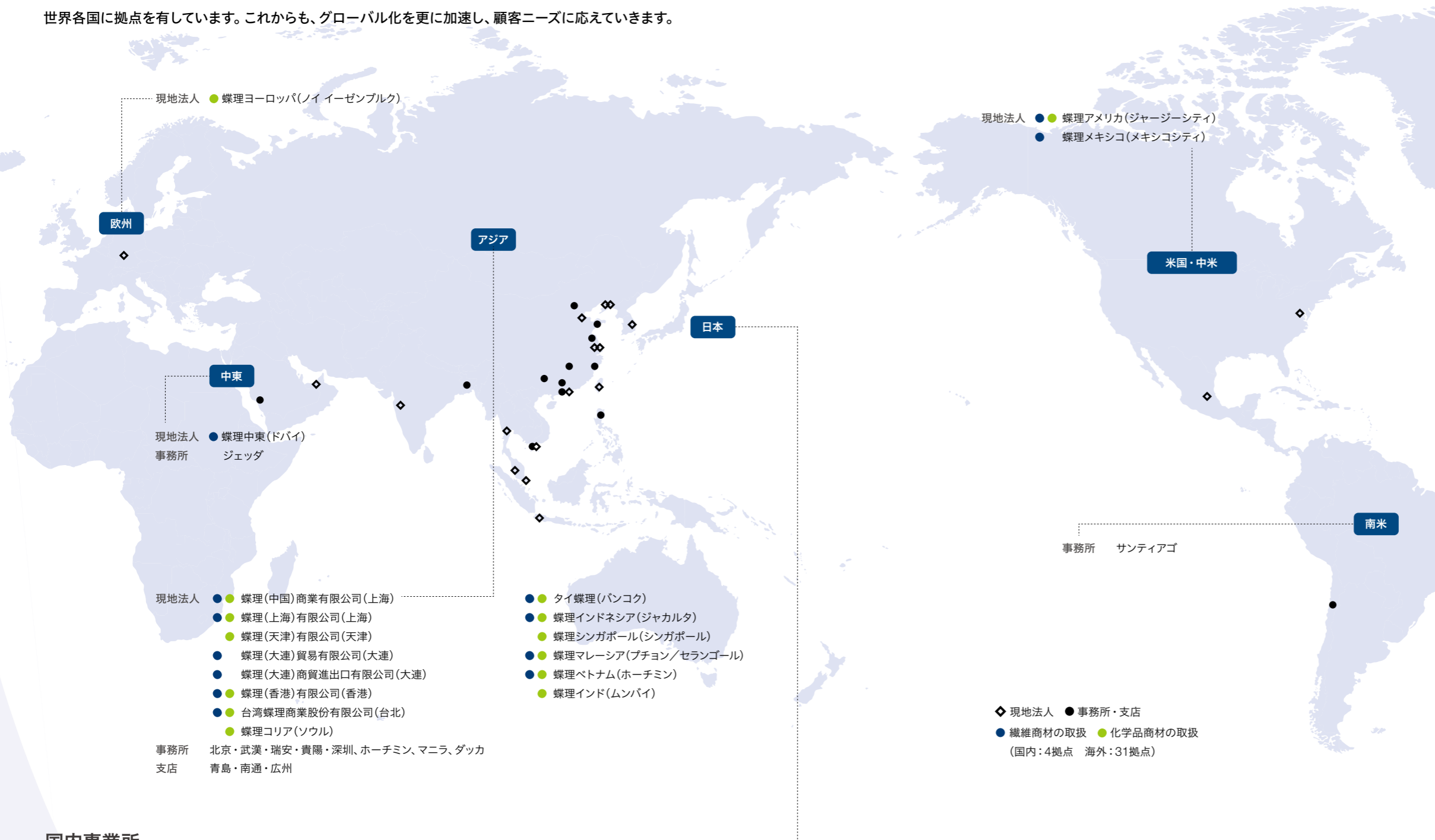
2024

サステナビリティを意識した経営

持続可能な社会の実現と中長期的な企業価値向上の更なる推進に向けて、マテリアリティ(重要課題)を特定し、サステナビリティ関連方針を策定しました。

蝶理のグローバルネットワーク

第二次世界大戦後、民間貿易が再開された1949年から海外展開を本格的に再スタートさせた蝶理は、世界各国に拠点を有しています。これからも、グローバル化を更に加速し、顧客ニーズに応じていきます。



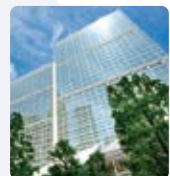
主要海外関連企業

- 青島紅蝶新材料有限公司(中国)
無機化学品の製造販売
- 北京星蝶裝備工程技術有限公司(中国)
化学プラント及びその資材の輸出入
- 蝶理(蘇州)材料科技有限公司(中国)
化学品の分析、研究開発
- MCC Industry COMPANY LIMITED(香港)
繊維製品の販売
- MEGACHEM LIMITED(シンガポール)
化学品専門商社
- PT. MATSUOKA INDUSTRIES INDONESIA(インドネシア)
繊維製品縫製

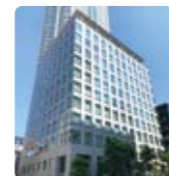
主要国内関連企業

- (株)アサダユウ
内装資材・梱包資材の販売
- 蝶理MODA(株)
ファッションアパレルの企画
- (株)STX
繊維専門商社
- ミヤコ化学(株)
化学品専門商社
- (株)小桜商会
化学品専門商社
- 蝶理GLEX(株)
化学品専門商社
- 蝶理マシナリー(株)
輸送機器の貿易
- (株)ビジネスアンカー
事務受託業

国内事業所



東京本社
〒108-6216
東京都港区港南2-15-3
品川インターシティC棟
TEL 03-5781-6200(代表)



大阪本社
〒540-8603
大阪府大阪市中央区淡路町1-7-3
日土地堺筋ビル(2024年9月16日まで)
大阪府大阪市中央区淡路町4-2-13
アーバンネット御堂筋ビル(2024年9月17日以降)
TEL 06-6228-5000(代表)

北陸支店
〒920-8676
石川県金沢市昭和町16-1
ヴィサージュオフィスゾーン15階
TEL 076-232-3521(代表)

岡山出張所
〒700-0024
岡山県岡山市北区駅元町1-6
岡山フコク生命駅前ビル10階
TEL 086-224-6188

蝶理のいま

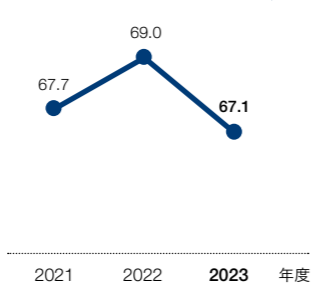
海外拠点数
31 拠点

※ 2024年6月現在

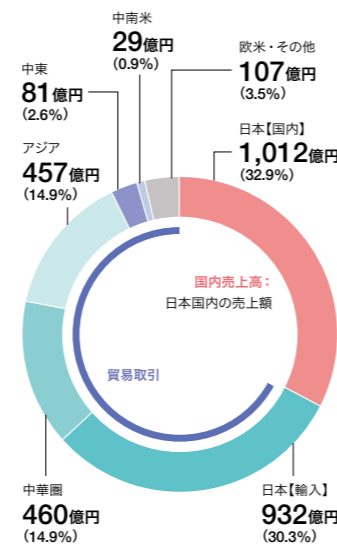
蝶理は、1930年代に人絹糸を中国、インド、メキシコへ輸出する等、戦前から新興国を積極的に開拓してきました。その後、アジアや欧米、中東等世界中に拠点を拡大させ、現在の貿易比率は約70%に上ります。

貿易比率
67.1%

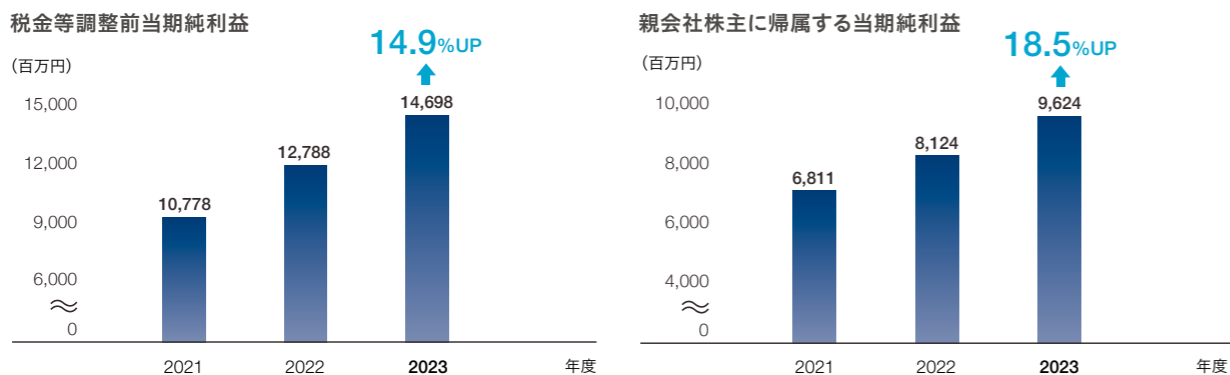
前年度比
-1.9pt



2023年度 地域別売上高



2023年度(2024年3月期)連結業績ハイライト



全社業務変革プロジェクト「CARAT(カラット)」の取り組み Chori Accelerate Renovation Achievement Transformation

2022年4月に始動したCARATは、次期基幹システム(SAP)の導入・構築を目的としています。経営管理レベルを高度化させる過程を通じて、蝶理グループのビジネスモデル・業務スタイルの変革を目指すプロジェクトです。2025年度の次期基幹システム本格稼働に向けて推進しています。



中期経営計画「Chori Innovation Plan 2025」

「Chori Innovation Plan 2025 (CIP2025)」は、2023~2025年度を対象とする、3カ年の中期経営計画です。CIP2025は、2017年度より推進してきたChori Innovation Planで掲げた新たなステージ「経常利益100億円台常態化」の総仕上げと位置付けています。蝶理グループは、「高機能・高専門性を基盤として、グローバルに進化・変化する企業集団」を基本方針として進化し、更なる企業価値の向上を目指します。

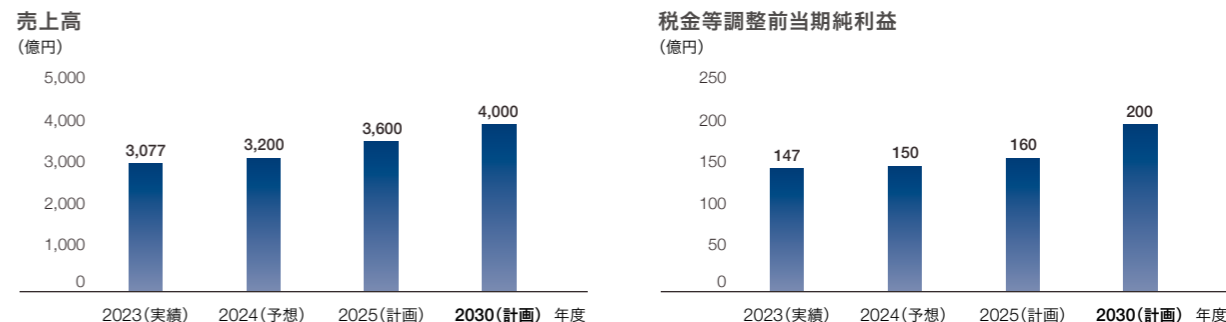


Chori Innovation Plan 2025の基本戦略とKPI

DXによるビジネス変革・経営変革を推進しながら、基本戦略を実行し、KPIの達成を目指します。

- 基本戦略1 連結グローバル事業軸運営の推進
- 基本戦略2 変化に即応したサステナブルなビジネスの創出
- 基本戦略3 ESG経営の推進

売上高・税金等調整前当期純利益



財務目標	
	2025年度計画
売上高	3,600億円
税金等調整前当期純利益	160億円
親会社株主に帰属する当期純利益	110億円
ROA(当期純利益 ^{#1} ベース)	7%以上
ROE(当期純利益 ^{#1} ベース)	12%以上
ROIC ^{#2}	約10%

- 非財務目標
- 環境等に配慮したSDGs商材の取扱拡大
- 総合職の採用人数、及び、総合職への職種転換の合計人数に占める女性割合：30%以上
- 男性社員の育児休業取得率の向上
- 管理職に占める女性の割合の向上
- 健康経営優良法人の認定継続
- DX(SAP導入)総投資額：約50億円

※1 親会社株主に帰属する当期純利益
※2 ROIC=税引後営業利益÷投下資本(自己資本+有利子負債)期中平均

事業紹介 繊維事業

1861年創業以来の蝶理の中核事業

生糸問屋として創業した蝶理にとって、繊維事業は創業以来160年超にわたるビジネスの軸。その専門性の高さや知見の広さで、歴史と共に信頼を築き上げてきました。繊維事業では、原料を扱う「川上」から、テキスタイルや資材を扱う「川中」、アパレル等の最終製品を取り扱う「川下」まで、トータルに事業展開を行っています。



素材事業部 各部の取扱商材・商品の強み

スポーツ衣料やユニフォーム向け等、多様な原料・テキスタイルを展開しています。

● 繊維原料部



主な取扱商材

- 合繊原料・ポリエステル糸・ナイロン糸

国内トップクラスの原料販売シェア

国内をはじめ、欧州・米国・ASEAN地域を中心とした海外への原料供給やオリジナル糸の開発等を行っています。海外ネットワークを利用したグローバル適地調達や日本の高度な糸加工技術を用いて、衣料用途や資材用途向けに販売し、付加価値のある高機能素材や環境配慮商材等、幅広く事業を展開しています。

● テキスタイル部



主な取扱商材

- カジュアルウェア・スポーツウェア・中東民族衣装・資材用途向け生地

日本の技術+グローバルな生産拠点

日本の高品質・高機能商材に加え、インドネシア・ベトナム・中国等の海外拠点で開発した生地を様々な市場に展開しています。日本国内だけでなく、中国・韓国を中心としたアジア地域、中東地域、欧州・米国向けとグローバルに生地を供給しています。

ビジネスモデル

長い歴史と共に築き上げた多様な取引先とのグローバルなネットワークを活かして、様々な商材の提案を行っています。原材料調達から、織り・編み・染め・縫製に至る各プロセスで商流のコラボレートを生み出せることが蝶理の繊維事業の強みです。また、取引先とのネットワークをもとに、オリジナル商材の繊維原料開発も手掛けています。

CIP2025 繊維事業戦略

「GLOBAL ONE STOP CHORI」の強みを更に強化し、成長分野での事業拡大を推進

- 独自のビジネスモデルの強化
- 3分野(素材・製品・資材)での安定的な成長
- 成長分野(環境、健康・快適)での事業拡大
- 事業の更なるグローバル拡大
- 高機能・高専門性の追求と差別化・競争力強化

資材事業部 各部の取扱商材・商品の強み

幅広い用途の資材を展開しています。

● 資材部



主な取扱商材

- 衛材・生活資材・建材

用途・要望に応えた、安心・高機能な不織布・複合シート

赤ちゃんの肌に触れる柔らかい不織布、多様なデザインで再現性の高い印刷防水フィルム、特殊原綿を活用したかき取り性能の高いワイピングシート等を取り扱っています。また、建材市場で培った高耐久性、透湿防水、遮熱、防カビ、防音・吸音等の複合性能を持った量産高機能シートの開発も行っています。求められる安心基準をアジア各国でも担保し、お客様のグローバルな販売を支援します。

● 車両資材部



主な取扱商材

- 自動車内装材用原料・表皮・自動車繊維部材

大手自動車メーカーの部材に採用

カーシートをはじめ資材用途を中心としたポリエステル糸の販売と、カーシートを中心としたファブリックの取扱を行っています。国内シェアは原料で40%以上、ファブリックでは30%以上を誇り、この強みを活かして海外にも積極的に事業を拡大しています。今後も、世界の主力プレイヤーと堅固なネットワークを構築し、差別化された原料・ファブリックを供給していきます。

事業紹介

製品事業部 各部の取扱商材・商品の強み

ワーキングウェアや紳士用スーツ、メンズ・レディースウェア、スポーツウェア等を取り扱っています。



ワークスタイル部



主な取扱商材

- メディカルウェア・ユニフォーム・スーツ・衣料資材

医療や介護、建築現場等、様々な分野のユニフォームを販売

あらゆるワーキングシーンにおいて、高い機能性が求められるユニフォームの企画・製造事業をグローバルに展開しています。また、環境配慮型素材や機能素材を用いた高付加価値商品において、国内及び中国・ASEAN地域に生産ラインを構築しています。紳士用スーツと衣料資材は日本、中国、カンボジアを拠点として適地調達、適地販売を展開しています。

アパレル部



主な取扱商材

- レディースファッション・メンズファッション・ユニセックスファッション

大手アパレルメーカーの有カブランドを国内外で生産、供給

大手SPA^{※1}や、アパレル有カブランドのOEM^{※2}事業を展開。ファッション衣料全般を取り扱い、グローバルSCMを背景に、企画・提案から縫製、物流まで一貫した事業を展開しています。EC及びリアル店舗市場を毎月分析し、高品質な商品提供を実現しています。また、素材事業部と連携し、サステナブル商材の製品化スキームに注力しています。

※1 Speciality store retailer of Private label Apparel (製造小売業)

※2 Original Equipment Manufacturer

パフォーマンスウェア部



主な取扱商材

- スポーツウェア・フィットネスウェア・ゴルフウェア・インナーウェア

大手メーカーの有カブランドを国内外で生産、供給

ゴルフ用、アスレチック用を中心としたファッション性、機能性の高いスポーツウェア、カジュアルウェアを取り扱っています。グローバルなサプライチェーンを駆使し、顧客と強固な協業体制を構築しています。また、インナーアパレルメーカーへ素材・製品を販売し、ヨガウェアやルームウェア等も取り扱っています。

サプライチェーン全体のサステナブル化を実現

blue
chain[®]

SUSTAINABILITY
COMES FROM THE WHOLE SUPPLYCHAIN.

BLUE CHAIN[®](ブルーチェーン)とは、温室効果ガス排出量や水消費量等繊維産業が抱える問題を解決するため、糸・生地・製品という繊維産業の川上から川下に至る各段階においてサステナビリティに対応した取り組みを行い、それらを柔軟に掛け合わせることでサプライチェーンにおけるサステナビリティの全体最適化の実現を目指す、蝶理独自のコンセプトです。

BLUE CHAIN[®]の取扱商材／取組



ECO BLUE[®]

回収されたペットボトルを使用したりリサイクル糸です。原料パレットから取り扱っており、長繊維から短繊維まで200種類以上の品種を展開しています。



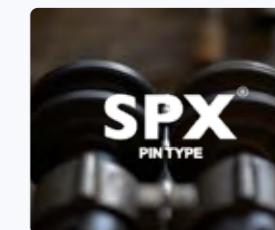
WS[®]

小松マテール(株)の「WSTM」は、低温で速く染まる特徴を持つ素材です。染色加工におけるCO₂排出量を従来比31.7%[※]削減することができます。
※ WSTMの代表的な素材で測定した数値です。



TEXBRID[®]

パネ状の分子構造で優れたストレッチ性と伸長回復性を有し、快適な着心地を実現。シワになりにくく、スポーツからビジネスまで日常使いで活躍します。



SPX[®]

北陸産地で50年以上続く日本独自の糸加工技術「PIN仮撚」によって作られるストレッチ糸。特有のふくらみと軽さにより、柔らかな肌触りと快適な着心地を実現します。



BLUENY[®]

繊維を再び資源化したリサイクルナイロン「LOOP」、回収漁網由来のポスト・コンシューマーナイロン「OCEAN」、植物由来のバイオナイロン「SAVE」の3種を展開しています。



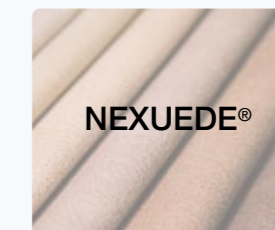
B-LOOPTM

繊維製品の循環型スキームの総称です。ポリエステルをはじめとした素材を綿や糸に戻すことで衣服・資材等への循環や、自動車の吸音材・水害防止用の河川敷マット等への再利用を行います。



ECOSOLTM

紡糸段階で顔料を練り込み着色した原糸ポリエステル糸です。糸を作る段階で色をつけるため、生地で染色する場合と比較し、水使用量やCO₂排出量を削減することができます。



NEXUEDE[®]

人工皮革の代替ともなる、マイクロファイバーの高品質織物生地。スウェード調の肌触りで、カーシート等で採用されています。

事業紹介 化学品事業

特異な原料・分野・市場で独自のビジネスモデルを創出

1956年、蝶理は石油化学の将来性に着目し、化学品の取扱を開始しました。以来、化学品事業は60年以上の実績を積み重ねてきました。中国国内での調達・販売だけでなく、中東等への輸出・仲介取引を行う等、グローバルネットワークを活かしながら多様なニーズに応えることで他社との差別化を進め、市場での存在感を高めています。

ビジネスモデル

高い専門知識を持つ人材を強みとし、マーケットインによる商品開発・商品供給を行っています。高機能商材の幅広いラインアップにより、顧客ニーズに対応しています。

CIP2025 化学品事業戦略

継続したイノベーションにより、新たなビジネスの構築を目指す

- 連結グローバル事業軸運営の推進
- 高機能・高収益・環境配慮型ビジネスへの入替
- 相場や景気に左右されにくい仕組み作り、商材領域の開発
- 中国・インド・東南アジア・韓国・南米との取り組み強化

重要領域

デジタル融合



電子・半導体材料



電池材料・非鉄金属

グリーンビジネス



ヘルスケア

フードマテリアル



農業・飼料・肥料

化学品第一事業部 各部の取扱商材・商品の強み

パフォーマンスケミカル部



主な取扱商材

- ウレタン原料
- 化粧品・パーソナルケア
- 塗料・インク・接着剤
- 環境商材
- 樹脂・コンパウンド

機能性化学品から環境商材まで、市場のニーズに即応した事業を展開

主に樹脂原料、化粧品原料や塗料原料の輸出入販売を行っています。世界的な環境への意識の高まりを受け、「カーボンニュートラル」の実現に向けてリサイクル商材やバイオ原料等各種環境商材の取扱に注力する等、成長市場への対応も強化しています。

無機ファイン部



主な取扱商材

- リチウムイオン電池関連材料・電池原材料
- 農業関連材料・肥料関連原料
- ガラス・セラミックス原材料
- 高機能無機薬品材料
- 高機能金属材料

ディスプレイ用のガラス基板原料や機能性材料の供給からアフターケアまで総合サポートを実現

薄型テレビやパソコン向けのフラットパネルディスプレイ (FPD) 市場の拡大に伴い、蝶理は中国の現地メーカーと合併でFPD用ガラス基板向け原料の製造会社を設立し、世界的なガラスメーカーに供給しています。

化工原料部



主な取扱商材

- アルミ電解コンデンサ
- 樹脂原料・樹脂添加物
- セラミックコンデンサ用原材料
- (タルク、ガラス繊維)
- 精製リン酸・リン酸塩
- 熱交換器用アルミ材料

リン酸塩は金属表面処理剤のほか、食品添加物等幅広い分野で使用

中国大手メーカーの代理店として、精製リン酸の原料の安定的な輸入・販売を行っています。リン酸二次塩の原料として使われており、日本国内に精製リン酸食品グレードの専用保管タンクを所有しています。車の塗装下地剤として使われる表面処理剤の原料、食品の保存料、食用油の精製等、幅広い分野で使われています。

事業紹介

化学品第二事業部 各部の取扱商材・商品の強み

● ファインケミカル部



主な取扱商材

- 医薬原薬・中間体
- 機能性中間体(半導体・電材関連)
- 農薬原体・中間体
- バイオ関連商材

少量・多品種 研究開発から商業生産までトータルサポート

世界5極(インド、中国、東欧、北米、アジア)の受委託先・仕入先とグローバルパートナーシップを構築しています。マーケットイン型のビジネスモデルを推進し、顧客の要望に基づくカスタマイズ原料を受委託という形で実現しています。インド亜大陸での新規商材・新規取引先の開拓や、バイオ領域の取扱品目拡大に注力しています。

● ライフサイエンス部



主な取扱商材

- フードケミカル
- 医薬品原料
- 飼料原料・添加物
- 医療用具
- ヘルスケア・サプリメント原料・健康食品素材

食品・飼料・医薬品・肥料向け原料を北米、欧州、中国、アジアの4極体制で調達

食の原点である飼料、肥料から加工食品向け食品原料、更に医薬品原薬を幅広く取り扱い、人々の豊かな生活と健康を支える事業を展開しています。次世代を見据えた未来志向のビジネスとして、食品、飼料領域で様々な代替タンパク新規事業を世界のパートナーと共に展開・推進しています。

SDGs商材

チリ・リチウム化合物製造プロジェクト

かん水から抽出することで、塩湖の水量を減少させずにリチウム化合物を生産するプロジェクトに参画しています。



持続可能なタンパク質

最新のバイオ技術を用いて新規タンパク質を生産することで、持続可能な水産飼料を開発しています。



生分解性樹脂

微生物によって最終的に水とCO₂に分解される、育苗シートを取り扱うほか、ごみ袋等への採用も提案しています。



事業紹介 機械事業

長年培ってきた貿易ノウハウ、
独自取引ルートを活かして、事業を推進

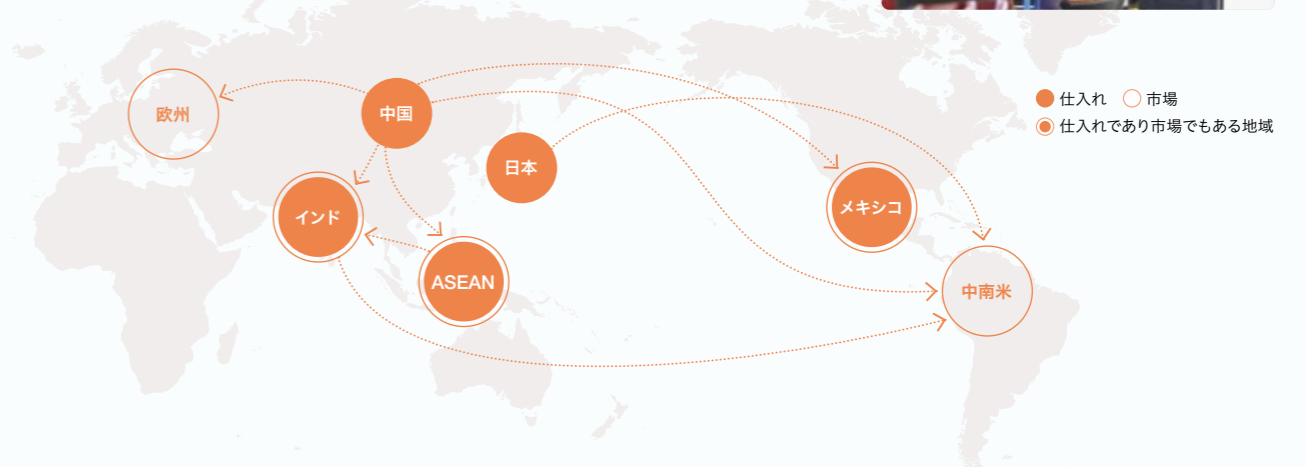
2017年4月に分社化した蝶理マシナリー(株)で、事業を推進しています。

● 輸送機器

四輪車・二輪車・トラック、農業用機械、建設資材、船舶用機器

四輪車・二輪車・トラック等の輸送機器のほか、農業用機械、建設機械等の中南米、ASEAN、欧州向け輸出・仲介取引を行っています。

2017年2月より、メキシコの自動車組立製造メーカーへの投資を通じて、中国の自動車メーカーの乗用車をメキシコでセミノックダウン生産し、現地で販売するプロジェクトに参画しています。これからも、長年培ってきた貿易ノウハウ、独自取引ルート等を活かして、事業を展開していきます。



SDGs注カプロジェクト

イタリア発の欧州戦略車

蝶理マシナリー(株)は、イタリアのパートナー企業と協働し、イタリアを中心にスペイン、ドイツ、東欧等の欧州各地向けビジネスを展開しています。パートナーが開発するスタイリッシュな自動車、現地の若者に支持され、市場で受け入れられたことで、好調に拡販が進んでおり、現在はSDGsに貢献する電気自動車も積極的に展開を進めています。

まずは160万台の市場規模を有するイタリアでプレゼンスを確立しました。そして欧州でのビジネスに留まらず、アジア、中南米向けビジネスの検討も始まり、パートナー企業と共に挑戦を続けています。



蝶理のサステナビリティ

蝶理グループは、世界中の様々なステークホルダーと関わりを持つ中、世界全体の持続可能性や発展も念頭に置き、事業を推進しています。持続可能な社会の実現と中長期的な企業価値向上の更なる推進に向けて、マテリアリティ(重要課題)を特定し、サステナビリティ関連方針を策定しました。

蝶理グループサステナビリティ基本方針

蝶理グループは、創業当初からの「世のため人のために事業を伸ばし、常に得意先と発展をともにしよう」と願う共存共栄の精神のもと、企業理念に掲げる「地球人の一員としてより良い社会の実現」に取り組んでいます。

コーポレートスローガン「あなたの夢に挑戦します。」に基づき、重要課題(マテリアリティ)の実践を通じてグループを持続的に成長させ、持続可能な社会の実現に貢献します。

マテリアリティ



持続可能で豊かな
社会の実現に
資する事業の推進



人材育成と
ダイバーシティの推進



サプライチェーン
マネジメントの強化



ガバナンスの強化・
コンプライアンスの徹底

重点テーマ

- カーボンニュートラルの実現(2050年)に向け気候変動による影響低減への貢献
- 脱炭素・循環型商材の更なる拡充によるサーキュラーエコノミーの確立
- 事業活動を通じた社会課題の解決
- トレーディングにとどまらない価値創造
- サステナブル素材の更なる拡充と取扱の拡大
- 社員が働き甲斐を感じ、幸せになれる企業の実現
- 人的資本投資(人材育成、採用強化、ダイバーシティ)
- エンゲージメント向上(働き甲斐、働きやすい環境整備)、健康経営の推進
- 高品質・安全性に優れた商材や原料の調達力の維持
- 安定したサプライチェーンの維持・強化(BCPの安定)
- グローバル需要に合わせた資源の有効利用と安定的な調達・供給
- サプライヤーの人権、労働、安全衛生への対応
- 持続可能な成長を実現するガバナンス体制の維持・強化
- コンプライアンスを遵守する社員の意識の更なる醸成

詳しくはこちら



蝶理のサステナビリティサイト

<https://www.chori.co.jp/sustainability/>

Tsumuguレポート

<https://www.chori.co.jp/ir/library/tsumugu/>



E: 環境

事業活動を行う上で、環境に配慮することは重要であり、環境課題に積極的に取り組むことが、企業の責任であると考えています。

環境への配慮

基本理念

ニーズに即応した優れた商品と的確な情報の提供を通じて確かな価値を創造し、より豊かな社会の実現に努めています。地球規模で環境に対する関心がますます高まりつつある中で、自己の役割を認識した環境への対応は、蝶理の経営基盤を確立する上で不可欠の要素と考えています。

ISO14001認証の取得

蝶理は、環境に関する国際標準規格であるISO14001認証を2000年に取得して以降、環境保全活動を継続的に実践しています。2017年12月に新規格へ移行し、2019年12月には北陸支店、岡山出張所を対象とし、(株)ビジネスアンカー等の子会社も含めた全社活動として取り組んでいます。

TCFD提言に基づく開示

蝶理は、2017年6月に公表されたTCFDの最終報告書「気候関連財務情報開示タスクフォースによる提言」に従い、推奨されている開示項目について、適切な情報開示に努めています。



S: 社会

蝶理は、ステークホルダーのウェルビーイングを実現し、働き甲斐を感じ、幸せになれる企業を目指します。

蝶理の人材育成

蝶理グループの人事ビジョン「人を活かし、人と活きる。人を育て、人と育つ。人を繋ぎ、人に繋げる。」に基づき、「人」を最も重要な経営資源と位置付けています。そのため、各種社内研修に加え、海外トレーニー制度や語学研修制度を推進し、海外で活躍できる人材の育成・確保に取り組んでいます。

人権の尊重

蝶理では国内外における調達活動において社会的責任を果たすため、人権方針やCSR調達ガイドラインを定め、企業倫理・法令遵守、安全・防災・環境保全、製品安全・品質保証、人権・労働環境等を重視した調達活動を推進しています。また、CSR調達ガイドラインでは11の企業行動指針を定め、社員が社会的使命を自覚し、真に活力ある企業行動の在り方を確立するよう努めています。定期的なCSR調達アンケートの実施や、ESGに配慮した企業との取り組みを強化し、サステナブルなサプライチェーンの構築に努めています。



G: ガバナンス

蝶理は、健全な経営と持続的成長を目指し、業務の適正性を確保するための体制整備に取り組んでいます。法令や社会規範を守り、業務を有効かつ効率的に行い、財務報告の信頼性を確保しながら、取締役会を戦略決定機関及び業務監督機関と位置付け、コーポレート・ガバナンスの強化に努めています。

会社情報

会社概要 (2024年3月31日現在)

商号	蝶理株式会社 CHORI CO., LTD.
所在地	東京本社 〒108-6216 東京都港区港南2-15-3 TEL 03-5781-6200(代表) 大阪本社(本店) 〒540-8603 大阪府大阪市中央区淡路町1-7-3(2024年9月16日まで) 〒540-8603 大阪府大阪市中央区淡路町4-2-13(2024年9月17日以降) TEL 06-6228-5000(代表)
資本金	68億円
設立	1948年9月2日 [創業1861年]
決算日	3月31日
従業員数	連結1,304名 単体418名(他社への出向者75名を含む)
ホームページ	https://www.chori.co.jp/

株式の状況 (2024年3月31日現在)

発行可能株式総数	55,000,000株
発行済株式総数	25,303,478株
株主数	7,767名
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場
主要株主	東レ株式会社

役員 (2024年6月18日現在)

代表取締役社長	迫田 竜之	常務執行役員	寺谷 義宏
社長執行役員		常務執行役員	芦田 尚彦
取締役 常務執行役員	吉田 裕志	上席執行役員	中山 佐登子
取締役 執行役員	埜 和博	上席執行役員	中村 将雄
取締役	猪原 伸之	執行役員	大岩 泰広
取締役 監査等委員	藪 茂正	執行役員	高丸 雅弘
社外取締役 監査等委員	澤野 正明	執行役員	河村 泰孝
社外取締役 監査等委員	鈴木 博正		
社外取締役 監査等委員	野田 弘子		

※ 取締役 澤野 正明、鈴木 博正、野田 弘子の3氏につきましては、東京証券取引所に対し、独立役員として届け出ています。

将来見通しに関する注意事項

本冊子に記載されている将来予測は、本冊子発行日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

組織図 (2024年6月18日現在)

